

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	エミュールプラス		
○保護者評価実施期間	2026年2月1日		～ 2026年2月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数) 13
○従業者評価実施期間	2026年2月1日		～ 2026年2月10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月23日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個室等、スペースが複数分かれており、部屋ごとで活動を区切ることができる	気持ちが崩れた際のクールダウンや部屋ごとで学習や個別療育等の使い分けをしている。	全ての部屋を同時に活用できていないタイミングもあるため、利用者数や利用者の特性、職員配置を考慮して有効に利用しながら支援内容を考えていく。
2	スペースが広く、大きく体を動かした活動を行うことができる	スペースを大きくとってのサーキット等の運動や宝探しと利用者者に合わせ、多種多様な活動を展開している。	スペースを有効活用した活動の種類として、運動が多くなるので、職員間で意見を出し合い、今まで行ったことの無い活動にも取り組んでいく。
3	保護者へ支援内容の共有をしている	学習の時間・毎日のレクリエーションでの集団活動を実施しており、支援にあたっては職員が送迎に行くことで保護者に日々の支援内容を共有している。	SNSやブログを使って日々の活動を発信しているため、共有を行い発信していることをより多くの保護者に見ていただけるようにする。 保護者参加の親子イベントを定期的に開催する。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	死角がしやすい	ドアや壁、個室が多いため	職員の立ち位置を再度見直し、死角が生まれないようにしつつ、活動スペースの使用可能範囲を職員の人数によって柔軟に変更して利用者に伝え、安全第一で活動を行っていく。
2	フロアが分かれた際に職員間でコミュニケーションを取るのが難しい時がある。	利用者の対応を優先して連絡を確認するのが難しいタイミングがあるため	職員間で予め、送迎や個別療育等、各々の動き方を共有し、確実に把握しておくことで適切な場所に人員を配置しておくことを徹底する。 必要であれば職員間で口頭での共有も増やしていく。
3	階段が少し急に感じる	活動スペースまで階段を上る必要があるため	上り下りする際は一段ずつを意識させ、手すりを持つように伝えていく。 上り下りに関わらず職員は常に下側で万が一に対応できるようにする。 必要なら職員間でコミュニケーションを取り、応援を呼んで安全確保したうえで移動する。

公表

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果

事業所名	エミュールプラス					公表日	2026年 3月 1日		
						利用児童数	20	回収数	13
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13	0	0	0			
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	10	1	0	2			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	12	0	0	1			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	12	0	0	1			
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	11	2	0	0	・職員間で差があるように感じます。	・支援にばらつきが出ないよう施設全体での研修を行い専門性を高めていくよう努めてまいります。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	13	0	0	0			
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	13	0	0	0			
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	13	0	0	0			
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	13	0	0	0			
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	13	0	0	0			
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	8	1	1	3		・今後、地域の団体との活動も検討してまいります。	
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	13	0	0	0			
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	13	0	0	0			
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	9	0	1	3		・保護者様参加型のイベント等も増やしていきたいと考えております。	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	13	0	0	0			
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	13	0	0	0			
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	13	0	0	0			
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	7	1	3	2		・今後、保護者様やご家族の方のサポートも視野に入れて運営を行ってまいります。	
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	12	0	0	1				

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	13	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	11	2	0	0		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	12	0	0	1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	11	1	0	1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	10	0	0	3		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	13	0	0	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	13	0	0	0		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	13	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	11	2	0	0		・今後もご利用様が楽しく安全に通所できるよう尽力してまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	13	0	0	0	・満足していますが、活動時の写真少しでもLINEで送ってもらえると良いです。	・ご意見ありがとうございます。運用に活かせるよう検討してまいります。

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名	エミュールプラス		公表日		2026年 3月 1日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	1	・子どもの人数が多い時には部屋をわけて活動している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	4		・配置は適切だが、対一対応が必要な児童が多かったり、イレギュラーなことがあったりした時に対応が難しく感じることもある
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	2	・子どもたちにわかりやすいように壁にルーティンのイラストなどを貼り可視化している	・建物の構造上、階段があるため、階段ののり下りがあぶない部分がある
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	0	・毎日の清掃以外に、全職員で清掃場所を割り振ることで、清潔を保つことができている。 ・子どもが運動などしやすい環境が整っており、気軽に体を動かしてくれている。 ・毎日清掃や点検を行っており、以上がないか確認している。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	0	・部屋数が多いため、個別の対応がしやすい ・宿題などに集中したい子がいれば使える状態になっている。 ・宿題をするときには学習室、言語をするときには個室を使用するなど部屋を使い分けられている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8	0	・2か月に1度面談があり、そこで振り返りを行っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	2		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	・週礼を通じて意見交換の場を設けている。 ・週の終わりに報告や共有の場が設けている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	2		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	1	・虐待防止研修やハラスメント研修など、積極的に研修をおこなっている。 ・他店での研修・外部の研修を受講している。 ・当施設で働いた年数によって随時研修を実施している	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8	0	・子どもと保護者のニーズに沿った支援目標等を話し合って計画している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0	・モニタリング前共有で、みんなで様子を共有し合い、支援方法を決定している。 ・他の職員からの意見をもとに、支援計画が作成されている。 ・日々の活動の様子を共有し、職員全員が意見を出し合っている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	1	・個人ファイルを活用し、誰でもすぐに支援計画を確認できる環境を整えている。 ・個別支援計画を読み、その子にあった支援を活動中に行っている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	0		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0	・意見を出し合い決定する場が設けている。 ・その日の担当者ごとで活動の流れを共有し、それに沿ってチームで協力して取り組んでいる。	

適切な支援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	1	<ul style="list-style-type: none"> ・平日は毎日レクリエーションを全職員で順番を回しながら行うことで多種多様な活動ができています ・運動系はウッドランド、ボール、鬼ごっこなどたくさんの運動が提供できていて、それ以外にもおもちゃで沢山の刺激を与えている。 ・レクリエーションでは担当する職員をローテーションしている。 	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	1		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	1	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日朝礼を行い、その際に支援の役割分担について確認し合っている。 ・支援開始前には必ず朝礼を行い、その日の流れや注意点を確認している。 	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	3	<ul style="list-style-type: none"> ・リタリコのメモを通じてその日あった出来事を共有している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の情報共有は活発におこなわれているが、改めて場を設けての振り返りは毎日行われていない。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> ・支援内容や児童の様子についてメモを残し、全員で共有するようにしている。 ・支援後すぐに記録を入力して記憶が新しいうちに残せるようにしている。 ・学習面や集団活動面での視点についての検証結果等をメモなどに記録する。 	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> ・6か月に1回はモニタリングを行い、支援方法の決定や支援計画の見直しをしている。 ・必要に応じて目標や支援内容を修正し、成長や変化に合わせた計画に更新している。 	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	7	1	<ul style="list-style-type: none"> ・当施設での活動の中で、自分で考える時間や自由にやりたいことを行っている。 	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	1	<ul style="list-style-type: none"> ・遊びをする際、ルールを子どもに決めさせることもある。 ・地域の相談支援事業所と連携を行っている。 ・何があってもどうしたいのか聞くようにしている。場合によっては選択肢を提示している。 ・活動や遊びをいくつか提案し子ども自身が選択できる場面を作っている。 ・ルール決めや話し合いでの意見、気持ちの言語化など本児たちで決めさせる。 	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	1		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	2	<ul style="list-style-type: none"> ・相談支援事業所や保育園等と連携し、支援を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・連携できているところもあるがすべてではない
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者を通して学校行事や授業時間などの情報共有をしてもらっている。 ・その都度学校から共有してもらっている。 ・送迎時に学校行事の予定や到着時間の遅れ等を共有している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・細かいことは共有できていない
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	2		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	1		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	2		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	6	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な地域から来る子ども達と同じ空間で活動している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・エミュールと法人内の他施設との交流は、合同イベントを除いては日常的にはあまりない ・地域の子どもと関わる機会はない
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	4		<ul style="list-style-type: none"> ・協議会や児童発達支援センターと連携を取ることが可能か知らない人や、存在も知らない職員が多いと思うので、そういう情報を知って集めて共有するところから始める必要がある。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日の送迎時に保護者に様子の共有を行っている。 ・保育園送迎で会えない保護者にもLINEなど様子を伝えられている。 ・送迎時やリズムでその日の様子や成長した点をこまめに伝えていく。 	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	3		
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> ・見学・契約の際に、しっかりと担当が説明している。 ・利用者負担がかかる場合は事前にお伝えしている。 		

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0	・面談の機会を設け保護者や子どもの意見・意向を聞き取っている。 ・送迎時やLINE、電話等で各家庭の意向に沿う形を可能な限り提供している	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	・送迎時やモニタリングの際に、家族からの相談事聞き、支援をおこなっている。 ・モニタリングや送迎時におこなっている。 ・必要に応じて具体的な関わり方や声掛けの工夫などを提案している。 ・相談内容によってこちら側でできることのお伝えと自宅でも行ってもらふことの詳細を伝える。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	4	・保護者会ではないが、保護者参加のイベントを通じて、交流できる場は設けている。 ・定期的に保護者は親子や兄弟で参加できるイベントを企画している。	・保護者同士の交流の機会はあまりない
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0	・苦情の内容に関わらず、適切な対応を行い、今後の対策を検討している	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8	0	・SNSやブログ等を通じて、写真と共に日常の様子が分かるようにしている。 ・イベント表を作成し行事予定を子どもや保護者にわかりやすく周知している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	・特に個人情報を取り扱う業務の際は、ダブルチェックや書類、データの管理を徹底している。 ・個人情報を含む書類は施錠できる場所で管理している。 ・写真を保護者に送る際やブログアップの際は顔や名前等見えないようにしている。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	・子どもや保護者の特性に合わせて声掛けや支援をおこなっている。 ・職員間で関わり方を共有し、統一した対応ができるようにしている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	5		・当施設に地域住民を招待することはあまりない
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0	・年に数回、事故や感染症を想定した訓練を実施している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0	・年に数回避難訓練を行い、非常時の動きを確認し合っている。 ・地震・火災などを想定した避難訓練を定期的に実施している。 ・実践前に各自復習と避難用バック等の位置の確認も行い、リアルな訓練を行う。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8	0	・契約時に確認している。予防接種は確認できていない。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	1	・日頃からおやつを出す際にはアレルギーに注意している他イベントで食品を作る際には保護者に成分表を確認していただいている。 ・職員が全員確認できるように一覧表を作成して共有している。 ・アレルギーをもつ子どもは別の机で食べその後アルコール消毒や掃除機を徹底している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	1		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	0	・避難訓練などを通じて、何かあったときにどのような対応をするか明確にしている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	・その日や月末会議にて共有、改善策を考える場を設けている。 ・ヒヤリハットや事故について職員間で話し合う機会を設けている。 ・月末にその月にあったヒヤリハットを職員間で共有し再発防止に繋げている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0	・定期的に全店舗合同での虐待防止研修を通じて、虐待に関する理解がある。 ・日頃の関わりについて振り返りをおこなっている。 ・虐待防止研修を定期的に受けている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8	0	・必要な場合は、事前に保護者に確認してから同意書をもって対応している。 ・児童の特性を考慮した上で、送迎時の引き渡し時など危険があるようなら共有前にドアを開けて引き渡す等の事前説明をして同意を得ている。		